

## 日ごろの成果を発表

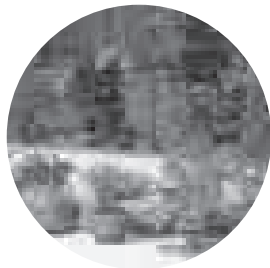
### 島ヶ原芸術文化まつり



6月6日、島ヶ原会館で島ヶ原文化芸術まつりが開催されました。これは、島ヶ原文化サークル連絡協議会によって、6月の第1日曜日の村民の日に行われる催しで、今年で8回目になります。

今年の演芸部門は、はじめにふれあいバンドによる懐かしい歌謡曲など6曲が演奏され、華やかにオープニングを飾りました。続いて、手品や大正琴、ハーモニカ、人形劇など島ヶ原文化サークル協議会に加入している17のサークルのうち、10サークルが日ごろの文化活動の成果を発表しました。

午前中から行われた山草の展示では、山草会の皆さんによって丹精こめて育てられたあじさいやささゆりなど色とりどりの山草や盆栽、およそ100種類が展示されました。



## 危機発生時に連携・協力を

### 災害時における応急対策等に関する協定調印式

5月27日、市役所で、株式会社キタモリとの災害時における応急対策等に関する協定調印式を行い、株式会社キタモリの北森浩貴代表取締役と内保市長が協定書に署名・調印しました。

市では、平成21年3月に策定した伊賀市危機管理大綱に基づき、危機発生時には市民・事業者・関係機関などと連携・協力して応急対策を行い、事態を迅速に収拾することを定めています。

この協定により、台風や大雨などの風水害や地震、大規模な事故などが発生した場合、緊急車両の妨げとなる車両を排除したり、救急車の搬送が困難な場合に緊急搬送の代行などを要請することができます。



## 手作りのストラップ

### フェルト・アクセサリ教室



6月16日、大山田公民館で大山田公民館教室の一つフェルト・アクセサリ教室を開催しました。1年間を通して6回開催するこの教室では、ふわふわのフェルトを使って、アクセサリ作りを体験し、かわいらしい小物作りに挑戦します。

作り方は、まずはじめにフェルトの繊維をほぐし、両手でくるくると丸める作業をしばらく続けます。作業の途中、洗剤を水で薄めた液をフェルトにスプレーします。丸めてはスプレーする作業を続けることで、ふわふわのフェルトを硬めていきますが、硬くするには時間がかかり、参加者は夢中で丸めていました。硬くなったら、フェルトについての洗剤の泡を水で洗い流し、乾かした後は、ニードルという細くつがった棒を使って、別のフェルトで模様を入れて完成です。

参加者は、星の形や鞆をイメージした模様など思い思いのアクセサリ作りに励んでいました。



まちがどTopics

### 有料広告を募集します

広告の募集を行っています。掲載料は1枠(縦5cm×横9cm)2万円です。

掲載を希望する号の2カ月前からお申し込みいただけます。

広告に関するお問い合わせは、秘書広報課(☎22・9636)までお願いします。※掲載の広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。



**進学模範校になるよ!**

進学模範校とは国家資格で認められたハイブリッド教育のスペシャリティと、海外模範校の良さを取り、教育の自由と進歩がより高くなった環境はあっても、やりがいを感じ、最新の教育を受けている中、進学模範校での必要校はますます高まっています。

入学試験(国語・算数)と面接(英語)

伊賀志摩ハイブリッドラーニングセンター併設  
・大学併修制度(希望者のみ)

伊賀志摩ハイブリッドラーニング専門学校 進学模範校学科

# 7月 青少年の非行・被害防止全国強調月間



子どもたちが楽しみにしている夏休みがもうすぐ始まります。子どもたちにとっては、普段、体験のできないことをするよい機会となります。しかし、「学校が休み」という開放感から生活が不規則になりがちであり、問題行動も発生しやすい時期でもあります。

明日の伊賀市を担う子どもたちを、社会全体で育むため、家庭・学校・地域が一体となって青少年健全育成の取り組みを推進することが必要です。このため、伊賀市青少年育成市民連絡会議と教育委員会では次の課題に取り組んでいます。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

## ◆青少年に有害な環境をなくす活動などの推進

青少年の非行を誘発しやすい施設などを巡回し、関係者の協力を求めることで青少年を取り巻く有害環境をなくす活動を推進します。

## ◆研修会などの開催

青少年健全育成に関する講演会や研修会を通じて、青少年の健全育成についての理解を深めていきます。

■問い合わせ 教育委員会生涯学習課  
☎ 22-9679 FAX 22-9691

## ◎伊賀市青少年センター

非行問題や交友問題など青少年の悩みを解決するため、専門的知識のある伊賀市青少年センター主任補導員が電話や面接により、適切な指導・助言を行っています。お気軽にご相談ください。

《とき》 月～金曜日 午前9時～午後4時  
※祝日は除く

《ところ》 伊賀市青少年センター  
(上野ふれあいプラザ 中3階)

《相談電話番号》 ☎ 24-3251

## 子どもの水の事故を防ぐために

いよいよ、水に親しむシーズンです。海や川などで子どもたちの水遊びが盛んになると同時に、水の事故が急増します。そこで、子どもの水の事故を防止するため次のことに注意しましょう。

### ①屋外での事故を防ぐため

- 危険な場所の点検をしましょう。
- 海や川などで、子どもだけで水遊びをしている場合は危険ですので、声をかけてやめさせましょう。
- 泥沼や草の生い茂っているところには近寄らせないようにしましょう。
- 丸太や漂流物の上では遊ばせないようにしましょう。
- 幼児に水遊びをさせるときは、保護者が同伴していても油断せず、幼児から目を離さないようにしましょう。

### ②日常生活での事故を防ぐため

- 好奇心旺盛な子どもの事故は、周囲の大人が気を配って予防する以外に方法はありません。家の中を点検し、水の入った浴槽やビニールプールなど、子どもに危険な場所を教えることも大切です。

本格的な水のシーズンを迎える前に、家庭や学校などで水の怖さについて話し合い、危険な場所での水泳や水遊びなどしてはいけないことを再確認しましょう。子どもを水の事故から守るためには、地域ぐるみで安全対策を進めていくことが大切です。

※万が一発生した水による事故の対処、応急手当講習会の希望がありましたらご連絡ください。

■問い合わせ 消防本部消防救急課  
☎ 24-9116 FAX 24-9111

## ルールを守って 楽しい花火!



本格的な夏を迎え、家族そろって花火を楽しむ季節がやってきます。しかし、「おもちゃ花火」といっても花火の原料は火薬です。家族で気軽に楽しめる花火も正しく取り扱わないと火災になったり、やけどをするなどの事故につながりかねません。

そこで、夏の風物詩「花火」の安全のために次のことに注意してください。

- ①花火の注意書きに書いてある遊び方をよく読んで必ず守る。
- ②花火を人や家に向けたり、燃えやすいものの近くで遊ばない。
- ③風の強いときは、花火遊びをしない。
- ④水バケツなどの消火の準備をする。
- ⑤大人と一緒に遊ぶ。
- ⑥たくさんの花火に、一度に火をつけない。
- ⑦正しい位置に火をつけ、途中で火が消えても、のぞき込まない。
- ⑧花火をほぐして遊ばない。

花火を楽しむために、場所と時間そして後始末のことを考えて花火遊びをしてください。

■問い合わせ 消防本部予防課  
☎ 24-9105 FAX 24-9111